



しかない さいこ

鹿内 彩子 准教授 博士(学術) 管理栄養士 東京都出身

【担当科目】

栄養教育論Ⅰ・Ⅱ、栄養教育実習Ⅰ・Ⅱ、
栄養教育実習、卒業研究 ほか



【主な研究テーマ】

1. 日本や東南アジアの子どもの栄養問題：
 - ① おやつや飲料などからの糖類摂取について
 - ② 保護者や子どものボディイメージについて
2. 日本や途上国の学校給食・栄養教育や食環境について：
 - ① 東南アジアの学校給食の現状



【高校生へのメッセージ】

管理栄養士は食にかかわる幅広い分野で活躍しています。栄養素そのものやその体内での働きについての研究や、食物の加工や開発に従事したり、人が食物をどのように食べていけば疾病を予防し、健康を保ちながら楽しく豊かな生活を送ることが出来るのか？直接食事などを提供し食教育を行う仕事まで様々です。そして、私たちの日常の「食」は各家庭から各地域、国レベルへとそれぞれ「食の文化」として、その形を保ち、または変えながら「食文化」としても継承されていきます。

皆さんの「食」に対する興味はどこにありますか？ 将来、食の専門家として人に、社会に貢献できることは何か、皆さんと一緒に考えていきたいと思います！

【プロフィール】

学歴： 大妻女子大学 家政学部 食物学科 管理栄養士専攻 卒業
お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科
博士前期課程 修士(生活科学)
博士後期課程 博士(学術)

職歴： 管理栄養士として国立病院、特別養護老人ホームなどに勤務。
青年海外協力隊として活動(マラウィ・フィリピンの現地病院に勤務)。
NGOに所属し、カンボジア現地駐在の管理栄養士として
国立小児病院での勤務も経験。
十文字学園女子大学アジアの食・文化研究所客員研究員、
聖徳大学講師を経て、2017年4月より現職。